

情報モラル指導内容

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
情報社会の倫理	A 発信する情報や情報社会での行動に責任をもつ。						
	1 約束やきまりを守る。	○	◎	○			▶
	2 相手への影響を考えて行動する。			○	◎	○	▶
	3 他人や社会への影響を考えて行動する。					○	◎▶
	B 情報に関する自分や他者の権利を尊重する。						
	4 人の作ったものを大切にすることを。	○	◎	○			▶
5 自分の情報や他人の情報を大切にすること。			○	◎	○	▶	
6 情報にも、自他の権利があることを知り、尊重すること。					○	◎▶	
法の理解と遵守	C 情報社会でのルール・マナーを遵守する。						
	7 情報の発信を情報のやりとりする場合のルール・マナーを知り守る。			○	◎	○	▶
	8 何がルール・マナーに反する行為か知り、絶対に行わない。					○	◎▶
	9 「ルールやきまりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重すること。					○	◎▶
10 契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない。					○	◎▶	
安全への知恵	D 情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる。						
	11 大人と一緒に使い、危険に近づかない。	○	◎	○			▶
	12 不適切な情報に出会わない環境で利用すること。	○	◎	○			▶
	13 危険に出会った時は、大人の意見を求め、適切に対応すること。			○	◎	○	▶
	14 不適切な情報に出会った時は、大人の意見を求め、適切に対応すること。			○	◎	○	▶
	15 予測される危険の内容が分かり、避けること。					○	◎▶
	16 不適切な情報であるものを認識し、対応できること。					○	◎▶
	E 情報を正しく安全に利用することに努める。						
	17 知らない人に連絡先を教えないこと。	○	◎	○			▶
	18 情報には誤ったものもあることに気付くこと。			○	◎	○	▶
	19 個人の情報は他人に漏らさないこと。			○	◎	○	▶
	20 情報の正確さを判断する方法を知ること。					○	◎▶
	21 自他の個人情報を第三者に漏らさないこと。					○	◎▶
	F 安全や健康を害するような行動を抑制できる。						
	22 決められた利用の時間や約束を守ること。	○	◎	○			▶
	23 健康のために利用時間を決めて守ること。			○	◎	○	▶
24 健康を害するような行動を自制すること。					○	◎▶	
25 人の安全を脅かす行動を行わないこと。					○	◎▶	
情報セキュリティ	G 生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る。						
	26 認識の重要性を理解し、正しく利用できること。			○	◎	○	▶
	27 不正使用や不正アクセスされないように利用できること。					○	◎▶
	H 情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる。						
28 情報の破壊や流出を守る方法を知ること。					○	◎▶	
公共的なネットワーク社会の構築	I 情報社会の一員として、公共的な意識をもつ。						
	29 協力し合ってネットワークを使うこと。			○	◎	○	▶
	30 ネットワークは共用のものであるという認識をもって使うこと。					○	◎▶